

本年度の重点目標と評価指標および主な具体的方策

重点目標		評価指標	主な具体的方策
健全な心身の育成	あいさつ・掃除・服装・時間を守るの4つを柱にした基本的生活習慣の定着を図る。	定期的に生徒アンケートを実施して、4つのことができていると答える生徒の割合を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ、掃除、服装、時間を守ることの意義を、生徒に様々な場面で示すことを重ねることで生徒の意識と意欲の向上を図る。</li> <li>○生徒会の執行部のあいさつ運動や生活委員会による月目標などの生徒会活動を活性化する。</li> <li>○あらゆる場面で、様々な方法で生徒への肯定的な評価を全ての教職員で積極的に発信する。</li> </ul>
学力の向上	生徒の基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。	学校評価において、「意欲的な学習態度」および「わかる授業、楽しい授業づくり」に対する生徒、保護者、教職員の肯定的評価を85%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「授業の達人三ヵ条 (①さあ始めよう! ②ほんきで活動 ③わの学び)」を柱とした学習態度の定着をめざした指導に全職員で取り組む。</li> <li>○「keyテスト」を定期的実施することで、基礎・基本の定着を図るとともに、ICT機器の活用を促進することで、生徒の学習意欲を高める。</li> <li>○全職員で授業改善に取り組むための校内研修および校内授業研究会を計画的に実施する。</li> </ul>
いじめ・不登校対応	いじめのない集団作りをめざすとともに、不登校状況の改善に取り組む。	学校評価の「いじめや問題への対応」に対する保護者・生徒・教職員の肯定的評価の割合を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きずなアンケート等でのいじめの早期発見と即時対応、情報の共有に全教職員で取り組む。</li> <li>○生徒指導部会、学年主任会、校内支援委員会、不登校対策委員会で実態と課題のていねいな把握と具体的な対応策を検討、実施することで、個に応じた柔軟で有機的な支援に全教職員で取り組む。</li> <li>○生徒相互及び教職員と生徒の信頼関係づくりのために、協同学習を取り入れた授業改善に取り組む。</li> </ul>